

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.212



発行日 2018年01月31日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 仲林 清
〒162-0801
東京都新宿区山吹町358番地5
アカデミーセンター
URL <http://www.jsise.org>
E-MAIL secretariat@jsise.org



2018 年度全国大会のご案内・・・・・・・・・・	2	教育システム情報学会研究会における	
2018 年度全国大会		不適切な質問等への対応について・・	15
企画セッションテーマ募集・・・・・・・・	3	研究会報告年間購読の申し込みについて・・	16
第6回研究会開催案内・・・・・・・・・・	4-5	支部活動報告・・・・・・・・・・	17-19
特集論文研究会開催案内・・・・・・・・	6-7	学会 Twitter,	
北信越支部主催ワークショップ開催案内・・	8	Facebook ページのご案内・・・・・・・・	20
関東支部合宿研究会開催案内・・・・・・・・	9	会費納入のお願い・・・・・・・・	21-22
第4回研究会開催報告・・・・・・・・	10	事務局より・・・・・・・・	23-24
第5回研究会開催報告・・・・・・・・	11-12	会員専用ページの案内,	
学生研究発表会開催案内・・・・・・・・	13	学会誌・研究報告バックナンバーのご案内,	
Learning Analytics に関する		新入会員のご紹介,	
シンポジウムのご案内・・・・・・・・	14	入会のご案内	



2018 年度 JSiSE 全国大会(第 43 回)のご案内

2018 年度全国大会の開催日と開催場所の予定が決まりました。

開催日：	2018 年 9 月 4 日(火) ～ 6 日(木)
開催場所：	北星学園大学 http://www.hokusei.ac.jp/

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



■ アクセス

<http://www.hokusei.ac.jp/access/>

・札幌市営地下鉄大谷地(おおやち)駅 1 番出口より徒歩 5 分

<札幌駅・札幌市中心部から>

札幌市営地下鉄を利用し、大通駅で東西線「新さっぽろ」行きに乗車、大谷地駅で下車(所要 約 15 分)

<新千歳空港から>

新千歳空港連絡バス(北都交通・中央バス)「地下鉄大谷地駅 直行便」に乗車、大谷地駅で下車(所要 約 35 分)

2018 年度全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内

教育システム情報学会 全国大会委員会
委員長 小松川 浩

企画セッションは参加者にとって関心が高く、より詳細な研究テーマに焦点をあてたセッションです。以下のようにテーマを公募いたします。奮ってご応募ください。テーマが採用された方はオーガナイザになっていただき、発表募集の広報やプログラム作成、セッションの実施を行っていただきます。なお、お申し込みいただいた内容にしたがって全国大会委員会プログラム部会で審査をし、採否を決定させていただきますので、ご了承ください。

企画セッションの講演原稿のフォーマット、投稿方法、セッションあたりの発表数、講演時間等は一般セッションと同じです。ただし、オーガナイザの裁量で1スロットにつき講演1件分を議論の時間にあてることができます。セッションの時間帯やスロット数は、大会プログラム作成時に全国大会委員会大会プログラム部会にて講演申込み数や全国大会全体の構成に応じて決定いたします。講演申込みは大会 Web の講演申込みサイトより、一般から公募いたします。また、企画セッションでの発表も大会奨励賞の対象となります。

企画セッションのテーマは一般セッションよりも特化したテーマに焦点があてられていることが望まれます。テーマご提案の際には、一般セッション講演募集用のカテゴリ表を参考にしてください。

■オーガナイザにご担当いただく事項

- 発表募集の広報（企画セッションの概要は全国大会 Web ページに掲載されます）
- 企画セッションのプログラム（発表順）の決定
発表申し込み数によっては、一部の発表を一般セッションに移動する必要性が生じます。その際、オーガナイザには一般セッションに移動する発表を決定していただきます。
- 座長の選定
原則としてオーガナイザが座長をご担当ください。セッションが複数になった場合は、各セッションの座長を異なるオーガナイザで担当していただきます。
- 当日のセッション運営

■お申し込み方法

以下の項目をご記入の上、全国大会委員会プログラム部会 (jsise-taikai-pc@jsise.org) 宛まで電子メールにてお申し込みください。

※送信後に投稿が保留された旨のメールが自動的に届きます。それとは別に後日受付の連絡をさせていただきますので、お待ちください。

- テーマ（企画セッション名）
- 概要（400文字程度）
- テーマが該当するカテゴリ、分野（カテゴリ表より選択、多くて2~3個を目安としてください）
- テーマが該当するキーワード（カテゴリ表中のキーワード）
- テーマ独自のキーワード
- オーガナイザ全員の氏名と所属、代表者の連絡先（電子メールアドレスなど）
※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります。

■申込期限

2018年2月23日（金）（2018年3月2日（金）までに採録結果を通知いたします）

=====

教育システム情報学会 (JSiSE) 2017年度 第6回研究会 開催案内
[研究会 Web] <http://www.jsise.org/society/committee.html>

=====

担当：西端律子，鷹岡亮，長谷川理，永田奈央美，山本樹，浅羽修丈，西野和典（研究会委員会）

■テーマ：初等教育とプログラミング／一般

■開催日：2018年3月17日(土)

■開催場所：畿央大学（奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2）

<http://www.kio.ac.jp/guide/outline/access/>

■趣旨

学習指導要領の改訂に向けて、基本的な方向性が示されています。次期学習指導要領は、小学校は平成32年度、中学校は平成33年度から全面実施されます。その中で、小学校においてプログラミング教育が必修化されることになっています。小学校段階におけるプログラミング教育については、プログラミング言語を用いた記述方法、いわゆるコーディングを学ぶことが目的ではなく、「プログラミングを体験しながら、コンピューターに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力」を育むことが主な目的とされています。すでに先行事例なども報告されていますが、今後、さらに小学校段階でのプログラミング教育の在り方や、教科等の中で上記の論理的思考を育むための学習内容や学習方法、教材の開発などの議論が活発化することが予想されます。

そこで、今年度の第6回研究会は、初等教育におけるプログラミング教育の学習内容や学習方法、教材開発などについての研究や議論を深めるため、「初等教育とプログラミング」に関連する研究発表を中心に実施します。

■発表原稿の提出について

本研究会に発表を申し込まれた方は、【2月6日(火)】までに原稿をご投稿ください。

原稿の執筆・投稿にあたっては、以下のページをご確認ください。

- ・研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>
- ・研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>
- ・研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>
- ・オンライン原稿投稿方法：<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■研究会および懇親会の参加登録

研究会当日のご参加も受付けておりますが、当日の円滑な受付のため、事前の参加登録のご協力をお願いしております。研究会への参加を予定されている方は、【3月10日(土)】までに、下記のWebページにお名前やご所属等の情報を入力してご登録下さい。なお、特集論文研究会と合同で、大学の最寄り駅付近で懇親会（4,500円程度）を予定しております。懇親会の参加希望も【3月10日(土)】までに下記Webページにご登録下さい。研究発表の申込をされた方も、懇親会の参加を希望される場合は、下記Webページでご登録下さい。

<https://goo.gl/forms/dC3kT3JwWAI7FqMv2>

■研究報告集と登壇者の報告書購入について

昨年度から研究報告が電子化されました。年間購読をお申し込み頂いている会員の方は、研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで公開されます。非会員の方や、年間購読を申し込まれていない方は、当日、受付で予稿集代(1,000 円)をお支払いいただき、ダウンロード用パスワードをお受け取り下さい。当日購入者でインターネット接続ができない場合、USB メモリーからコピーをしていただくこともできます。

研究会への参加費は無料となっておりますが、登壇者の方で研究報告の年間購読をされていない方には、当日分のオンライン研告集の購入 (1,000 円) をお願いしております。詳しくは、研究会参加に関してよくあるご質問 (FAQ) <http://www.jsise.org/society/faq.html> をご覧下さい。

* 年間購読(4,000 円)をお申し込みいただくと、年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます。申込方法等の詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.jsise.org/utility/information/20160222.html>

■お問い合わせ先

西端律子 (畿央大学, 第 6 回研究会担当委員)

E-mail : r.nishibata@kio.ac.jp (@の部分は半角の@に変えてください)

★★多くの方のご参加を心よりお待ちしております!★★

=====

教育システム情報学会 (JSiSE) 2017 年度 特集論文研究会 開催案内
[研究会 Web] <http://www.jsise.org/society/committee.html>

=====

担当：西野和典（九州工業大学）、松田憲幸（和歌山大学）、光原弘幸（徳島大学）、
國宗永佳（千葉工業大学）

■テーマ：— 新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境／一般 —

■開催日：2018年3月17日(土)

■開催場所：畿央大学（奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2）

<http://www.kio.ac.jp/guide/outline/access/>

■趣旨

本研究会は2019年4月発刊予定の本学会誌論文特集と連動した企画となっております。

[学会誌特集号の論文募集はこちら http://www.jsise.org/journal/cfp2018_offer.html]

本学会誌では2007年に特集号「新しいメディア/デバイスを活用した学習支援環境」を発刊いたしました。それから10年が経過し、その間に数多くの新技術に基づくメディア・デバイスが生まれてきました。これらのデバイス・メディアは現代および次世代の学習支援システムを考える上で欠かせないものとなっています。以上のような状況を踏まえ、本特集論文研究会では、教育分野にこのようなメディア・デバイスを応用するための基礎的研究、メディア・デバイスを活用した学習支援環境の提案、ならびにこのような環境を用いた教育実践など、当該分野に関する研究発表と議論を行います。

■発表原稿の提出について

本研究会に発表を申し込まれた方は、【2月6日(火)】までに原稿をご投稿ください。

原稿の執筆・投稿にあたっては、以下のページをご確認ください。

- ・研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>
- ・研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>
- ・研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>
- ・オンライン原稿投稿方法：<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■研究会および懇親会の参加登録

研究会当日のご参加も受付けておりますが、当日の円滑な受付けのため、事前の参加登録のご協力をお願いしております。研究会への参加を予定されている方は、【3月10日(土)】までに、下記のWebページにお名前やご所属等の情報を入力してご登録下さい。なお、第6回研究会と合同で、大学の最寄り駅付近で懇親会（4,500円程度）を予定しております。懇親会の参加希望も【3月10日(土)】までに下記Webページにご登録下さい。研究発表の申込をされた方も、懇親会の参加を希望される場合は、下記Webページでご登録下さい。

<https://goo.gl/forms/dC3kT3JwWAI7FqMv2>

■研究報告集と登壇者の報告書購入について

昨年度から研究報告が電子化されました。年間購読をお申し込み頂いている会員の方は、研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで公開されます。非会員の方や、年間購読を申し込まれていない方は、当日、受付で予稿集代(1,000 円)をお支払いいただき、ダウンロード用パスワードをお受け取り下さい。当日購入者でインターネット接続ができない場合、USB メモリーからコピーをしていただくこともできます。

研究会への参加費は無料となっておりますが、登壇者の方で研究報告の年間購読をされていない方には、当日分のオンライン報告集の購入 (1,000 円) をお願いしております。詳しくは、研究会参加に関してよくあるご質問 (FAQ) <http://www.jsise.org/society/faq.html> をご覧下さい。

* 年間購読(4,000 円)をお申し込みいただくと、年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます。申込方法等の詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.jsise.org/utility/information/20160222.html>

■研究会および学会誌特集号案内・担当委員（お問い合わせ先）

- ・特集論文研究会案内：http://www.jsise.org/society/committee/2017/PROGRAM_special.html
- ・学会誌特集号案内：http://www.jsise.org/journal/cfp2018_offer.html

担当委員：西野和典（編集委員会・副編集委員長）E-mail: nishino@lai.kyutech.ac.jp

（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）

★★多くの方のご参加を心よりお待ちしております！★★

北信越支部主催ワークショップ 「成果発表を磨く」開催・募集のお知らせ

北信越支部では、広く教育工学、教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため、【成果発表を磨く】というワークショップを開催しています。

内容は、論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに、学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と、論文執筆と目標とした議論です。過去の3回のワークショップでは、講演をいただいた仲林会長や北信越支部会員より、多くのコメントもいただきました。これらの様子は、北信越支部のWebサイトやFacebookにてご覧いただけます。また、数多くのコメントをいただいた博士課程学生の皆さんは論文採録2本、国際コンペ表彰1名、学位取得3名（内1名現在審査中）など、それぞれに成果をあげています。

本年度は以下の内容にて開催します。なお、本ワークショップは、昨年度より、全国の学生会員もしくは会員の皆様が指導されている学生を対象としたワークショップとなっております。

また、本年度も、仲林会長にご参加いただけることになりました。「成果発表を磨く」実践的な機会であり、研究に対する多くの有益なコメントをいただける機会です。翌日5日には学生研究発表会もありますので、学生の皆さんはこれらと合わせて是非ご参加ください。

○北信越支部ワークショップ【成果発表を磨く】

開催日時：2018年3月4日（日）14：00～

開催場所：長岡技術科学大学（新潟県長岡市）

後援：長岡技術科学大学

プログラム概要：

14：00～14：05 開会

14：05～14：55 セッション1 講演

仲林 清（教育システム情報学会会長・千葉工業大学）

15：00～ セッション2 ワorkshop「成果発表を磨く」

博士課程学生による話題提供・討論（2～3名程度）

話題提供・討論概要：

申込者には、1件あたり50分の時間が与えられます。

与えられた時間の中で話題提供と討論をしてください。

事前に予稿等の原稿提出は不要です。当日の資料配付等は可とします。

対象：博士後期課程学生もしくは博士前期課程で論文投稿を目指す者

JSiSE学生会員またはJSiSE会員に指導を受ける者

申込方法・べ切：2月9日（金） ※定員になり次第締め切ります。

申込み、お問い合わせ先：北信越支部研究会担当 hse-submit@jsise.org

※ 話題提供のタイトル、氏名、連絡先、指導教員の氏名をお知らせください。

北信越支部 Web サイト：<http://www.jsise.org/~hse/>

北信越支部 Facebook：<https://www.facebook.com/jsisehse>

関東支部合宿研究会(学生研究発表会)のご案内

関東支部 支部長 松居辰則(早稲田大学)
実行委員長 山本樹(創価大学)

教育システム情報学会関東支部では支部独自の取り組みとして、学生研究発表会(関東地区)を下記の日程・場所で1泊2日の合宿形式にて実施いたします。

支部設立に先立って昨年度よりラウンドテーブルを含む合宿形式の研究会を試行的に実施し、ご参加いただいた皆さまから、発表だけでなく、他校の学生と深い議論を行うことができたとの評価をいただいております。

学生研究発表会の発表申し込みについては既に締め切っておりますが、発表をされない学生・教員・企業の皆さまの参加については引き続き受け付けております。この機会に、来年度以降学会発表を目指す学生や指導教員の皆さま、議論に加わっていただける皆さまには、ぜひご参加をご検討いただきたく存じます。

記

日程：2018年3月5日(月)午後～6日(火)昼頃

場所：河口湖温泉 ホテル湖龍(山梨県南都留郡富士河口湖浅川630-1)

<http://www.hotel-koryu.jp/>

参加費：教員・社会人 14,000円、学生 9,000円

参加申し込み締め切り：2018年2月11日(日)

申し込み先：jsise-kanto-sub@jsise.org

お申し込みの際には、参加者全ての

- ・氏名
- ・教員/社会人・学生の別
- ・性別

をお知らせください。

以上

2017 年度第 4 回研究会 開催報告

- テーマ：適応的なスキル学習支援／一般（合同開催：電子情報通信学会教育工学研究会）
- 開催日：2017 年 12 月 2 日（土）
- 会場：金沢工業大学 扇が丘キャンパス（〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1）
- 担当：長谷川 忍，柏原 昭博，曾我 真人，小尻 智子（運営協力：教育システム情報学会北信越支部）
- 発表件数：15 件
- 参加者人数：33 名
- 概要：

本年度第 4 回研究会は「適応的なスキル学習支援／一般」のテーマで、15 件の発表のうち 10 件が、いわゆる身体知、経験知、認識、行動、動作、技能などといったスキルに広い意味で関連するテーマでした。アカデミックライティングに対する学習支援体制に関する報告や、問題対象領域の論理構造を意識させることによる作問学習への効果、認知症患者や特別支援教育等におけるトレーニングなどバラエティに富むテーマにおいて支援環境の事例や支援システムの開発・評価についての活発な議論がなされました。また、一般発表として、シラバスデータによる LMS コースの自動生成や IRT による適応型テストの能力値推定、聴覚障害者を対象とする e ラーニング教材の学習履歴分析などに関する発表があり、こちらも活発な討論が行われました。また、本研究会は、電子情報通信学会教育工学(ET)研究会との合同開催で行われました。会場はやや離れていましたが、プログラムの時間を合わせることで相互に参加可能な形で行われました。さらに、合同の特別講演として、東京工業大学名誉教授の西原明法先生による信号処理分野の国際的人材育成についての講演が行われ、遠隔教育をはじめとする貴重な実践について拝聴することができました。合同開催により、ET 研究会の参加者も JSiSE 研究会に聴講参加しており、またその逆もあったことから、合同開催の目的は達成されたのではないかと考えています。なお、15 件の研究発表のテーマは以下の通りです。

- ・メンタリングを利用した科研を書くための WS の設計と実施
- ・アカデミック・ライティングについての学習支援体制の構築 -関西大学ライティングラボの授業外個別相談と正課教育の連携-
- ・英語で読ませた時でさえ、マンガの要約に集合知は有効か？
- ・問題の対象領域における論理構造を意識させる作問学習手法
- ・学生スマートフォン必携に伴う BYOD を活用したアクティブラーニング -コンピュータ系授業における実践-
- ・Android タブレット端末を利用した小学校安全マップ活動支援アプリケーションの改良 -操作性の向上を目指して-
- ・認知機能の評価及び維持・促進を目的とした Android アプリケーションの開発 -UI/UX の検討と実装-
- ・正課外活動に対応するポートフォリオ・システムのデザイン
- ・シラバスデータを用いた雛形コースの自動作成
- ・情報モラル適応型テストの能力値推定プログラムの動作検証
- ・線形代数における計算アルゴリズム学習支援システムの開発と評価
- ・認知機能の評価及び維持・促進を目的とした Android アプリケーションの開発 -トレーニングモード機能の拡充-
- ・インターネット・リテラシー教育を支援する e ラーニング教材の学習履歴の分析
- ・肢体不自由者のための Kinect V2 センサーを用いた腕トレーニングシステムの改良
- ・複数の入力手法に対応した特別支援教育における入力評価アプリケーションの開発

2017年度 第5回研究会 開催報告

■テーマ：新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般

■開催日：2018年1月6日（土）8:45～18:00

■開催会場：神奈川県立横浜国立大学 アクティブラーニング横浜

（〒220-0011 横浜市西区高島 2-6-32 横浜東ロウイスポートビル 10F）

■担当：鷹野孝典，三石 大，佐々木整，光原弘幸，高木正則（研究会委員会）

■発表件数：26名

■概要：

年明け1月6日、神奈川県立横浜国立大学 アクティブラーニング横浜を会場に第5回研究会を開催いたしました。新年早々の開催ではありましたが、好天にも恵まれ、また、研究会の中で関東支部設立総会も開催されたこともあり、例年以上に多くの皆様にご参加頂くことができました。

今回の研究会テーマである新技術と教育情報を活用した教育学習環境について、基礎技術やシステム開発、教育学習手法、実践に至るまで、合計26件の幅広い研究発表がありました。発表件数の関係で2会場に分かれての開催となりましたが、各会場とも質疑応答も活発に行われました。各発表のタイトルの一覧を末尾に示します。

また今回は、午後の時間帯に関東支部設立総会がありました。ここでは、本学会会長仲林清先生、および関東支部支部長松居辰則先生から、関東支部設立の趣旨と活動方針等に関するお話を頂きました。総会後に、早稲田大学名誉教授筧捷彦先生より、「情報教育とプログラミング」の題目で記念講演をして頂きました。講演では、小中学生への学習・教育方法から国際情報オリンピックの日本人学生の活躍等、様々なお話を頂き、筧先生のプログラム教育についての幅広い知見と深い情熱をうかがい知る機会となりました。筧先生には、お忙しい中、貴重なご講演を頂き、関東支部総会参加者の皆様とともに大変楽しいひと時を共有させて頂きました。この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

- ・ 自己調整学習に関する内省・概念化を促す授業における学習者意識変化の分析
- ・ eポートフォリオ等を活用した自分のペースで学習できる授業設計
- ・ 個別化教授システム（PSI）による新入社員を対象としたプログラミング研修の実践
- ・ MOOCを用いた教育実践を事後評価する際に用いる評価指標の提案
- ・ 食育支援システムの開発 ～摂取食物の傾向調査～
- ・ 調べ学習における閲覧履歴の収集と活動の可視化
- ・ 講義ビデオの視聴で書込タイミングに同期したコメントのスクロール表示の有無と注目度の時系列的变化に着目した実験
- ・ A Case Study on Prediction of Student Performance in a Blended Learning class
- ・ 幼保人材養成課程におけるアクティブ・ラーニング実施にかかわる一考察
- ・ プロジェクト型学習実践のための教員共同体形成の試み ―教員意見交換会の分析―
- ・ 小学校段階におけるプログラミング教育を対象とした教員免許状更新講習の実践
- ・ 在日中国人留学生による異文化適応のためのシナリオ型自習教材の検討
- ・ 大学初修中国語教育における学習動機付けを目的とした SNS 配信コンテンツの設計指針の作成と実践

- 英文の読み書き頻度に基づいた英語スピーキング学習支援システム
- 数式検索システムを応用した学習項目ならびに公式抽出機能の実装
- キーボードとマウス操作ログ分析に基づくユーザー特性の考察
- 問題自動生成システムを利用した作問演習の実践と評価
- Kinect を利用したギターの演奏動作認識システムの開発
- プレゼンタ動作を再現・再構成するロボットプレゼンテーションシステム
- 動画像データを用いた注射技術分析
- 大学職員のためのサイバーセキュリティ教材の開発
- 学習状況の視覚的な提示によりマイクロラーニングに基づく持続的な学習を可能とする スマートフォン学習教材のための UI デザインの検討
- 学習履歴の閲覧意図に応じて異なる複数の視点を切り替え可能なログデータ可視化手法の検討
- 感情表現のための LINE スタンプの使用 ～ LINE メールへの依存度および性別の比較 ～
- LINE において 4 種類のネガティブ感情が生じる時間 ～ 返信の待ち時間に関する LINE メール依存度による比較 ～
- スマートフォンを自由に使用しながら講義を受けることが学習者に与える影響 –インターネット依存との関係性–

「2017年度 JSiSE 学生研究発表会」に関する参加案内

教育システム情報学会 人材育成委員会

関係者各位,

平素は、教育システム情報学会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。

さて、教育システム情報学会人材育成委員会では、「学生研究発表会」を下記の通り企画しました。
2月後半から3月初旬にかけて9会場で学生研究発表会を実施しますので是非ご参加をご検討ください。

学生研究発表会 Web ページ : <http://www.jsise.org/society/presentation/index.html>

記

1) 開催地区・開催都市 開催場所・開催日 実行委員長情報

開催地区 開催都市	開催場所・開催日 実行委員長 (連絡先)
北海道 千歳市	千歳科学技術大学 2018年3月11日(日) 小松川浩(千歳科学技術大学) hiroshi@photon.chitose.ac.jp
北信越 長岡市	長岡技術科学大学 2018年3月5日(月) 長谷川忍(北陸先端科学技術大学院大学) hse-submit@jsise.org
関東 山梨県	河口湖(ホテル湖龍)(合宿形式) 2018年3月5日~3月6日(合宿形式)(ポスターあり) 山本樹(創価大学) jsise-kanto-sub@jsise.org
東海 名古屋市	愛知県立大学サテライトキャンパス(名古屋駅前) 2018年3月6日(火)(ポスターあり) 野崎浩成(愛知教育大学) nozaki@aecc.aichi-edu.ac.jp
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス 2018年2月26日(月)(ポスターあり) 小高恵(太成学院大学) kotaka@tgu.ac.jp
中国 広島市	広島工業大学五日市キャンパス 2018年3月3日(土) 林雄介(広島大学) hayashi@lel.hiroshima-u.ac.jp
四国 高松市	香川大学幸町キャンパス 2018年3月2日(金) 八重樫理人(香川大学) hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp
九州 佐賀市	佐賀大学 2018年3月1日(木) 岡崎泰久(佐賀大学) okaz@cc.saga-u.ac.jp
沖縄 那覇市	琉球大学総合情報処理センター 2018年3月2日(金) 谷口祐治(琉球大学) taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp

※更新情報などは学生研究発表会の Web ページでご確認をお願いします。

Learning Analytics に関するシンポジウムのご案内

教育システム情報学会の重点領域検討委員会 Learning Analytics 部会（LA 部会）では、2018 年 3 月 21 日（水）に京都大学に於いて情報処理学会教育学習支援情報システム（CLE; Collaboration and Learning Environment）研究会、学習分析学会、日本教育工学会 SIG03「教育・学習支援システムの開発・実践」、人工知能学会先進的学習科学と工学（ALST: Advanced Learning Science and Technology）研究会との合同で Learning Analytics に関するシンポジウムを開催致します。

このシンポジウムでは、「学際的アプローチによる実効性のある LA の実現を目指して」をテーマに、教育システム分野の研究者と教育システム分野以外（例えば、パターン認識、メディア理解、ユビキタス・センサー技術）で学習・教育でのデータに興味をもっている研究者や企業の方を交えて議論を行います。多くの方々の参加をお待ちしております。

テーマ：学際的アプローチによる実効性のある LA の実現を目指して

※ 学習分析学会との合同開催です。

日時：2018 年 3 月 21 日（水） 3 時間程度 ※時間は未定（決まり次第メーリングリストでご連絡いたします）

会場：京都大学 学術情報メディアセンター南館 2 階

(http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_ys.html#03)

登壇者：荒牧英治（奈良先端科学技術大学院大学）、緒方広明（京都大学）、黄瀬浩一（大阪府立大学）、田村恭久（上智大学）、村上正行（京都外国語大学）、松居辰則（早稲田大学）、吉田自由児（デジタル・ナレッジ） ※五十音順、

内容：15 分程度の話提供×7 件＋60 分程度の討論会

参加費：このシンポジウムは無料です。同時に開催される情報処理学会等の研究会やイベントに参加される場合は別途参加費等がかかります。詳細は各学会にお問い合わせください。

参加申し込み：3 月 20 日（火）までに下記 URL からお申込みください。

<https://goo.gl/forms/dIZ9zkSgxjEaVWe42>

なお、このシンポジウムは情報処理学会 CLE 研究会（下記 URL）の中で開催致します。

<http://new.sigcle.jp/news/CLE24CFP>

また、2018 年 3 月 22 日に京都大学時計台百周年記念ホールにてラーニング・アナリティクスに関するシンポジウムが開催されます。

<http://eds.let.media.kyoto-u.ac.jp/lasympo2018/>

あわせてご参加ください。



教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、現在 31 巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年 140 件程度の研究成果(2014 年度 139 件、2015 年度 138 件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただいていたに参りました。2016 年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・年間購読: 4,000 円(定例研究会年 6 回、特集研究会 1 回、計 7 回分を含む)
- ・当日販売: 1 回分 1,000 円

新規での「年間購読」申し込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いいたします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====
※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

関東支部設立総会のご報告

関東支部 支部長 松居辰則(早稲田大学)

教育システム情報学会関東支部の設立に伴って、2018年1月6日(土)に教育システム情報学会関東支部設立総会を開催いたしました。この総会は、神奈川工科大学 アクティブラーニング横浜にて同日開催された、第5回研究会の中で開催させていただきましたため、支部会員36名の皆さまに加えて、研究会にご参加の皆さまにも多数ご列席いただき、支部としての活動を本格的に開始いたしました。なお、支部会員の出席者36名と委任状146名の計182名により総会が成立いたしましたことをご報告いたします。

議事に先立って、本学会会長の仲林清先生(千葉工業大学)からご挨拶をいただきました。議事として以下の事項についてご確認およびご承認をいただきました。

- 支部設立の趣旨・活動方針
- 支部会則、支部役員の構成
- 2017年度の活動計画・活動報告ならびに2018年度の活動計画
- 2017年度の予算計画・予算報告ならびに2018年度の予算計画

総会後には支部設立を記念して、早稲田大学名誉教授の笈捷彦先生をお招きし、「情報教育とプログラミング」と題したご講演をいただきました。この講演では昨今本学会においても重要なテーマとして位置づけられております情報教育の今後を見据え、次期学習指導要領におけるプログラミング教育の位置づけや、笈先生のプログラミング教育観についてご紹介をいただきました。さらに、小学生・中学生による先進的なスマートフォンアプリ開発の事例、今年9月に茨城県つくば市にて開催が予定される「国際情報オリンピック」での日本代表選手(中高生)の大活躍の様相などが紹介され、今後のプログラミング技能の涵養や発揮の方向性について、大変示唆に富んだご講演となりました。

次回の支部総会は2018年5月12日(土)に開催される、第1回研究会と併せての開催を計画しております。支部会員の皆さまにおかれましては、ご出席くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

末筆になりますが、今後も支部会員ならびに学会員の皆さまより、本支部の活動へのお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



笈先生による記念講演の様子

東海支部より活動報告

[講演会]

■日時：2017年12月16日(土) 15:00～17:30

■会場：名古屋都市センター 第4会議室

座長：津森伸一先生（聖隷クリストファー大学）

<講演 1>

■講師：山崎國弘先生（株式会社アバンセシステム，静岡大学）

演題：「静岡大学クラウド反転授業支援システム」

<講演 2>

■講師：永井弘人先生（愛知教育大学）

演題：「民俗学（民芸・工芸）を中心とした特別支援教育における教材開発」

<講演 3>

■講師：板宮朋基先生（愛知工科大学）

演題：「Mixed Reality(複合現実)/Virtual Reality(人工現実)の防災教育・医学 教育への応用」

<企業デモ展示>

■講師：綱取真那先生（ライズ株式会社）

演題：「入学前から就職サポート！ 「基礎学力」UP の切り札と活用事例のご紹介」

本講演会には21名が参加した。山崎先生から静岡大学情報基盤センターで行われている反転授業支援システムについて講演があった。反転学習のターゲットとしてアーリーアダプター、アーリーマジョリティ、レイトマジョリティーとし、簡単に使える、80点を目指す、需要の急増に対応可能とする、競争意識を刺激するサービスの提供を目指した。従来のLMSとの違いとして負担であった受講管理をしない方針で、講義動画システムを作成された。pepperを活用しつつ教材配信「大学教育テレビジョン(SETV)」の紹介があった。永井先生からは障害を持つ子供達が美術分野で感じる力はすばらしく、表現する能力や数学能力とは別の能力である点を経験に基づきお話しされた。板宮先生からはMR/VRを用いた疑似体験を使い、スマートフォンで津波の浸水状態を実感できるアプリの活用や医療分野での応用についての話があった。綱取様からは入学前教育の課題として、実情を調査し、つまずきは中学レベルの基礎が不安定であるのが要因の一つであると指摘があった。その為に入学前、入学後の卒業までの支援体制についての事例紹介があった。

講演会終了後、懇親会を開催し、講演内容及びその他で盛んな議論がなされた。

2017年度 関西支部 第1回 若手研究者フォーラム開催報告 「大学で教えるということーアクティブ・ラーニングをデザインするー」

■開催日：2017年11月26日（日）14:00～17:00

■会場：大阪教育大学 天王寺キャンパス

■講師：大山 牧子（大阪大学）

■担当：瀬田和久，村上正行，尾崎拓郎，大山牧子

■概要 2017年11月26日に、大阪教育大学において関西支部第1回若手研究者フォーラムを開催し、大阪大学の大山牧子先生に、「大学で教えるということーアクティブ・ラーニングをデザインするー」と題した講演とワークショップをして頂きました。大山先生のご専門は、教育工学，大学教育学で、特に大学教員を対象とした授業改善に関する実践的取り組みをされています。アクティブ・ラーニングのためのコースデザインやリフレクション支援に関して豊富な経験をお持ちで、今回の講演では、

- なぜ teaching の知識が必要なのか？
- 大学における教育活動の特徴
- アクティブ・ラーニングとは
- 多様な教授法
- アクティブ・ラーニングの導入法

などについて、学習者中心のアクティブ・ラーニングのデザインの意義を、将来大学教員を目指す大学院生にも理解できるよう系統的かつ、わかりやすく教示していただきました。また、講演の要所でグループワークを取り入れられ、3時間の講演時間もあっという間にすぎ、まさに、実践形式で知識と実践の両面からアクティブ・ラーニングの意義を体感できる有意義な機会となりました。講演会参加者は17名、講演会終了後は、大学・高等専門学校・中等教育の教員、大学院生ら10名と語らいの場を持ちました。





Twitter アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用 (フォロー) ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2018年1月31日現在, フォロワー数 : 182 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2018年1月31日現在, いいね数 : 322 人



会費納入のお願い

会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、2017年度会費未納の方はご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。なお、2月上旬に2018年度会費納入のお願いをメールでお送りしますので、合わせてお願いします。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

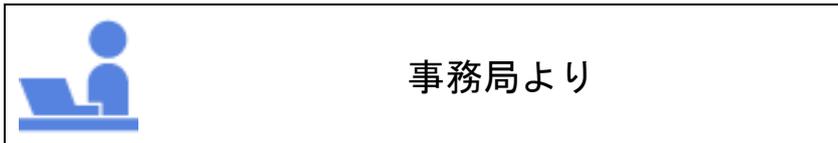
【2017年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に2017年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局 (secretariat@jsise.org) までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2017年11月25日～2018年1月24日

会員名	会員種別	会員名	会員種別
松木 康真	正会員	堀越 泉	学生会員
中村 潤	正会員	徳島 智春	学生会員
松下 征悟	正会員		

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL: <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料でさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。